比喩の解釈と面白さの関係に関する予備的検討

○平知宏・楠見孝

(京都大学大学院教育学研究科)

キーワード: 比喩・面白さ・解釈

Pilot study of relationships between metaphor interpretation and interest

Tomohiro TAIRA, Takashi KUSUMI.

(Graduate School of Education, Kyoto University)

Key words: Metaphor, Interest, Interpretation

目 的

比喩とは、「人生はギャンブル(のよう)だ」といったように、主題(例: 人生)を喩辞(例: ギャンブル)でたとえている表現一般について指す。1つの比喩から想起される解釈は、必ずしも一つだけというわけではない。例えば「人生はギャンブルのようだ」といった表現であれば、「人生はどうなるかわからない」といった解釈の他にも、「人生にはイチかバチかだ」といった具合に、複数の解釈が想起されることが考えられる。比喩の解釈は多義的であり(平・中本・楠見, 2007)、理解の過程において、様々な語用論的效果・詩的效果を生じさせると考えられている(Sperber & Wilson, 1993)。例えば平・中本・楠見(2006)では、比喩の面白さは比喩から産出される解釈の数と相関することを示しており、理解しやすく多くの解釈ができる比喩ほど面白いとされることを予測している。ただし彼らが示した解釈の数は、比喩から想起される可能性のある解釈の数を示したものであって、実際に人が解釈を想起するという行動と面白さとを結びつけているわけではない。

こうした点を踏まえて、本研究では比喩文の面白さと解釈の関係について、実際に解釈を想起することと面白さの認知の関係を探ることを目的とした。本研究では質問紙調査により、比喩から想起可能な複数の解釈に対し、調査参加者がそれぞれの解釈に対してどのように振舞うか、面白いとされる比喩とそうでない比喩において、どのような違いが見られるかを検討した。

方 法

材料 平・中本・楠見(2006)で用いられた比喩文 30 文のうち、面白さ評定値の高かったもの 13 文(評定 5 段階(1: 面白くない-5: 面白い)で $M=3.23$)、面白さ評定値の低かったもの 13 文($M=2.81$)を用いた。比喩文は全て「A は B のようだ」形式の直喩文として用いられた。その上で材料となる比喩文それぞれに、5つの解釈を作成した。5つの解釈は、平・中本・楠見(2007)の結果を参考に、解釈の産出頻度として高いものから低いものまでが均等になるように作成した。

また材料の予備的検討として、材料となる比喩の 5つの解釈に対して、大学生・大学院生 9 名により、比喩の解釈として想起される順に 1-5 の順位づけ評定を行い、その結果に基づき、それぞれの比喩における 5つの解釈を順に第 1 解釈から第 5 解釈として決定した。

手続き 質問紙を用いた集団形式で行った。質問紙には直喩文とその解釈 5つが印刷されており、参加者には比喩文の解釈としてそれぞれの解釈が重要であるかどうかを、7 件法(1: 全く重要でない-7: 大変重要である)で評定するよう求めた。

参加者 日本語を母語とする文系大学生 30 名(男子 10 名、女子 20 名、平均年齢 19.8 歳)が調査に参加した。

結 果

面白さ評定値の高い比喩と低い比喩それぞれにおける、第

1 解釈から第 5 解釈までの重要度評定は、図 1 のようになった。

図 1. 解釈ごとの重要度の変化

面白さ評定値の高い比喩の重要度については、第 1 解釈が顕著に高くなっており、第 5 解釈まで順に重要度が下降していることが見て取れる。また第 1 解釈から第 4 解釈までは、重要度中点 4 からの有意差が見られた。一方、面白さ評定値の低い比喩の重要度については、第 1 解釈から第 4 解釈までの間に顕著な差は見られない。また重要度中点 4 からの有意差が見られたのは、第 1 解釈のみであった。

また第 1 解釈 ($t(24)=3.46, p<.005$), 第 2 解釈 ($t(24)=2.10, p<.05$) それぞれにおいて、面白さ評定値の高い比喩の方が、低い比喩に比べて重要度が有意に高くなった。

考 察

結果から、面白さ評定値の高い比喩は、第 1 解釈が最も重要な解釈とされているが、ある一定水準において第 4 解釈までも重要とされている。しかし面白さ評定値の高い比喩は、第 1 解釈のみが重要であるとされている。これらから、面白い比喩に対しては、多くの解釈が重要とみなされる傾向を示しているといえ、面白さの認知と解釈の過程を結びつける 1つの示唆を得たといえる。今後の展開としては、実際に解釈を行うという行為と面白さの評価が結び付くような実験計画のもと、以上の予備的検討から得られた知見を実証していきたい。

引用文献

- Sperber, D., & Wilson, D. 内田聖二ほか訳 1993 関連性理論: 第 2 版 研究社出版。
 平知宏・中本敬子・楠見孝. 2006 直喩文の理解容易性と解釈多様性が面白さに及ぼす効果: 理解がしやすく多くの解釈ができるから面白い. 日本心理学会第 70 回発表論文集, 240.
 平知宏・中本敬子・楠見孝. 2007 比喩理解における親しみやすさと解釈の多様性. 認知科学, 14, 322-338.